



地域・家庭・学校を結ぶ学校だより

高 台

<https://www.ota-school.ed.jp/magomehigashi-js>



令和7年4月8日
令和7年度第1号
大田区立馬込東中学校

見られる背中は出来上がりましたか！

一生徒のみなさんへー

校長 松井 圭一

新たな年度を迎えて、学年が一つあがりました。

みなさん 進級おめでとうございます。

令和6年度の修了式で、「先輩の背中を見て学ぶ」というお話をしました。みなさん、覚えていますか。

2年生は3年生の背中を見ながら、1年生は2年生と3年生の背中を見ながら、この1年を送り、馬込東中学校の伝統を受け継いでいくことになります。

特に3年生、みなさんは約200人の後輩たちから、見られる存在となります。見られても恥ずかしくない背中が出来上がっていますか。

2年生のみなさん、この1年間先輩の背中を見ていた立場から、はじめて後輩たちに見られる立場となります。心構えは出来ていますか。

後輩たちに見られているから頑張るのではなく、見られていないときでも全力を出し切って頑張ることが、真の「背中でものを語る（教える）」ことだと思います。

では、「背中でものを語る」ためには、どのようにすればよいのでしょうか。

3年生は馬込東中学校の最高学年であるという自覚と誇りをもち、残り1年を切った中学校生活の一秒一秒を大切に、日々の学習に、定期考査に、委員会活動や係活動に、部活動に、修学旅行に、体育祭に、学芸祭に、進路選択に、友だちとの絆づくりに、学級や学年の仲間そして先生方や職員の方との思い出づくりに、広い意味での学習に、全力で取り組んでみましょう。

2年生は10月から3年生に変わって、馬込東中学校の生徒の中心として活動していくことを念頭におきながら、3年生の背中から学ぶと共に1年生に目標とされるよう全力を出し切って日々を送りましょう。みなさんの背中を令和7年度から2年間見続けていく1年生の憧れの存在になることを今年度の目標の一つにしてほしいと思います。

どんなことも、はじめの一步は意識をしないと始まりません。

その一步に続く次の一步を踏み出すこと、そして継続していくことで、意識して動くのではなく踏み出すことが日常のルーティンとなっていくのです。

そうなれば、馬込東中学校での生活の一日一日が充実したものとなり、自然に後輩たちに背中でものを語る先輩となっているはずです。

さて、もう一つみなさんにお伝えしたいことがあります。

卒業式の式辞でもお話ししましたが、「未来は自分の力で切り拓く」のです。誰かがみなさんの未来を切り拓いてくれるわけではありません。自分で考え、自分で判断し、自分で行動して、未来を自分のものとしていくのです。

そのために、この馬込東中学校での日々の生活をとらえて、自分で考える力、自分で判断する力、自分で行動する力をしっかりと身に付けてほしいと思います。

本気で頑張るみなさんを、馬込東中学校の先生や職員は力一杯サポートしていきます。

そして、1年生のみなさん 入学おめでとうございます。馬込東中学校の3年生も2年生も、みなさんから見て、とても信頼でき、見習うべき先輩たちです。

先輩たちの背中からたくさんを学び、1年後、2年後の自分の姿を思い描いて、自分の成長を実感することができる馬込東中学校での一日一日を送っていきましょう。

よりよい馬込東中学校を築き上げていく中心はみなさん生徒です。互いに協力し合い、誰もが日々の学校生活を安心して楽しめるよう、全校生徒で力を出し合いましょう。

<保護者・地域の皆様へ>

保護者、地域の皆様、新たな年度がスタートしました。本年度も馬込東中学校の教育活動に御理解・御協力いただきますよう宜しくお願いいたします。